

# 平成29年度 事業報告書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

公益財団法人 三井住友海上福祉財団

# 平成 29 年 度 事 業 報 告 書

## I. 事 業

### 1. 概 要

当年度は、MS & ADインシュアランスグループホールディングスの株式配当と債券利息を合わせ、従来の事業規模を維持しうる運用収入が得られた。事業費総額は5,390万円となり、引き続き着実な事業活動を行うことができた。

当財団の事業は「交通安全等」と「高齢者福祉」を2本の柱としているが、助成事業付帯費790万円を除く助成金の分野別内訳は、交通安全等が1,384万円、高齢者福祉が3,215万円となった。

なお、当財団が昭和50年に発足以来の助成金の累計総金額は23億4,176万円、累計総件数は2,027件となっている。

### 2. 事業実績

当年度の事業分野別、事業種類別の助成件数、助成金額は次のとおり。

#### (1) 交通安全等分野

	助成件数	助成金額(万円)
研 究	16	1,210
著作・論文表彰	2	80
普及・啓発	4	94
助成金計	22	1,384

#### (2) 高齢者福祉分野

	助成件数	助成金額(万円)
研 究	24	2,701
著作・論文表彰	1	30
施設・事業	5	484
助成金計	30	3,215

#### (3) 事業費合計（交通安全等＋高齢者福祉）

	助成件数	助成金額(万円)
研 究	40	3,911
著作・論文表彰	3	110
普及・啓発	4	94
施設・事業	5	484
助成金計	52	4,599
付帯費計		790
事業費合計（助成金＋付帯費）		5,390

### 3. 当年度の主な事業

当年度における助成内容、助成先および助成金額は別紙「事業一覧」のとおり。

#### (1) 研究助成

当財団の助成事業の中心は研究助成であるが、当年度についても合計 40 件、総額 3,911 万円の研究助成を行った。これは、助成金総額の 85.0%を占めている。

#### ①国内研究助成

##### a. 応募と決定の件数

研究助成の応募件数、要望金額ならびに決定件数、決定金額は次のとおり。

	応募件数	要望金額(万円)	決定件数	決定金額(万円)
交通安全等部門	38	5,899	10	930
高齢者福祉部門	122	18,501	21	2,500
合計	160	24,400	31	3,430

##### b. 募集、選考および決定の状況

当年度は、平成 29 年 4 月 1 日から 6 月 30 日の期間で募集を行った。募集にあたっては、できるだけ広くから多数の応募を受けられるよう、「応募要項」を当財団のホームページに、また「応募要項要旨」を助成財団センター発行の『助成金応募ガイド』、大学病院情報ネットワーク（略称 UMIN）のホームページほかの媒体に掲載するなど、周知に努めた。その結果、合計 160 件もの多くの応募が寄せられた。

交通安全等部門の選考委員会は 9 月 6 日に、高齢者福祉部門の選考委員会は 9 月 14 日にそれぞれ開催し、交通安全等については 10 件 930 万円、高齢者福祉については 21 件 2,500 万円を同委員会で選定したうえで、10 月 24 日開催の理事会に諮り、助成を決定した。当年度も幅広いテーマから水準の高い研究を選ぶことができた。

#### 選考委員

交通安全等	高田 邦道（委員長）	日本大学名誉教授	交通工学
	鈴木 春男	千葉大学名誉教授	交通社会学
	関野 宏明	聖マリアンナ医科大学名誉教授	脳神経外科
	太田 博雄	東北工業大学名誉教授	交通心理学
	関根 太郎	日本大学理工学部教授	自動車工学
高齢者福祉	大内 尉義（委員長）	虎の門病院院長	加齢医学
	大泉 博子	元衆議院議員、元国際医療福祉大学客員教授	ソーシャル・ビジネス
	児玉 桂子	日本社会事業大学名誉教授	福祉生活環境学
	島崎 謙治	政策研究大学院大学教授	社会保障法・医療政策
	岩本 俊彦	国際医療福祉大学塩谷病院教授	老年病学

##### c. 研究結果の開示

平成 27 年度に助成した研究を中心に、合計 40 件の研究結果を収録した「研究結果報告書集 第 21 巻」（A4 判 148 頁）を 7 月に刊行した。

さらに、研究者等の便宜を図るため、同書の内容を当財団のホームページに掲載した。このほか国立情報学研究所の「学術研究データベース・リポジトリ (NII-DBR)」にも各研究結果報告書の要約を登録、公開した。

なお、これまでに当財団が助成決定した研究課題のリスト（助成研究課題、助成対象者および助成金額）は、当財団のホームページでの公開のほか、助成財団センターのホームページ「助成金情報」にも登録、公開を行った。

## ②海外研究助成

海外研究助成は平成 19 年度に三井住友海上アジア持株会社の協業を得て、東南アジアを対象地域として開始したが、当年度は前年度と同様、シンガポールとタイにおいて実施した。国内に準じた方法で募集・選考を行い、交通安全等 6 件、高齢者福祉 3 件、計 9 件、総額 481 万円の研究助成を行った。

## (2) 「三井住友海上福祉財団賞」－ 著作・論文表彰 －

交通安全等と高齢者福祉の分野での優れた著作・論文を表彰する「三井住友海上福祉財団賞」の募集を行い、交通安全等部門で 3 件、高齢者福祉部門で 12 件の応募があった。

- ① 募集対象期間 平成 27 年 4 月から同 29 年 3 月の 2 年間に発表された研究
- ② 募集方法 自薦および他薦
- ③ 応募期間 平成 29 年 4 月 1 日から 6 月 30 日まで

選考委員会は、前記の研究助成の選考委員会メンバーにて同日開催し、厳正なる選考を行った結果、「財団賞」として交通安全等部門で著作 1 点（高齢者福祉部門は「該当者なし」）、「財団奨励賞」として交通安全等および高齢者福祉の両部門で各 1 点の著作が選考された後、10 月 24 日開催の理事会において、財団賞（副賞 50 万円）と奨励賞（副賞各 30 万円）の授賞と副賞贈呈を決定した。

### 【交通安全等部門】

財団賞 ー著作 1 点ー

著者：松浦 常夫 実践女子大学人間社会学部 教授  
題名：高齢ドライバーの安全心理学

財団奨励賞 ー著作 1 点ー

著者：荒井 由美子 国立長寿医療研究センター 長寿政策科学研究部 部長  
題名：認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者のための支援マニュアル：  
認知症高齢者の安全と安心のために（第二版）

### 【高齢者福祉部門】

財団奨励賞 ー著作 1 点ー

著者：株本 千鶴 椙山女学園大学人間関係学部 教授  
題名：ホスピスで死にゆくということー日韓比較からみる医療化現象

(3) 普及・啓発助成

当年度も、内閣府が主催する春・秋の全国交通安全運動に協賛して同運動用のポスターを寄贈したほか、交通安全フォーラム開催への協賛など 4 件、94 万円の助成を実施した。

(4) 施設・事業助成

デイサービス利用者等の送迎用介助式福祉車両購入費用の補助として、5 施設 484 万円の助成を行った。

4. 研究助成および財団賞の贈呈式開催

国内での贈呈式は、平成 29 年 11 月 14 日に六本木・住友会館において、「平成 29 年度研究助成」および「平成 29 年度三井住友海上福祉財団賞」の贈呈式を開催した。

交通安全等については高田邦道選考委員長から、高齢者福祉については大内尉義選考委員長から講評が行われた後、植村理事長から受賞者に表彰状、助成対象者に目録が贈呈された。引き続き財団賞受賞者 1 名と研究助成対象者 1 名による記念講演が行われた。

海外研究助成の贈呈式は、平成 30 年 1 月 30 日にシンガポール、翌 31 日にタイのバンコクで開催した。

II. 理事会・評議員会

1. 理事会

○第 140 回理事会 平成 29 年 6 月 6 日開催

第 1 号議案 平成 28 年度事業報告および決算、並びに行政庁への定期提出書類承認の件

第 2 号議案 平成 29 年度第 1 回助成事業承認の件

第 3 号議案 第 16 回評議員会（定時）の招集承認の件

報告事項 理事長および専務理事の職務執行状況について（平成 29 年 3 月～5 月）他

○理事全員の書面による同意に基づく決議の省略

理事会の決議があったとみなされた日：平成 29 年 6 月 28 日

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容：

- (1) 植村 裕之を理事長に再任する。
- (2) 野村 義人を専務理事に再任する。
- (3) 野村 義人に事務局長を委嘱する。

○第 141 回理事会 平成 29 年 10 月 24 日開催

第 1 号議案 平成 29 年度第 2 回助成事業承認の件

第 2 号議案 平成 29 年度研究助成事業承認の件

第 3 号議案 平成 29 年度財団賞授賞承認の件

第 4 号議案 内部統制に関わる規程の制定承認の件

第 5 号議案 第 17 回評議員会（臨時）の招集承認の件

報告事項 理事長および専務理事の職務執行状況について（平成 29 年 6 月～9 月）他

- 第 142 回理事会 平成 30 年 3 月 15 日開催
  - 第 1 号議案 平成 29 年度第 3 回助成事業承認の件
  - 第 2 号議案 「平成 30 年度事業計画」および「平成 30 年度予算」承認の件
  - 第 3 号議案 資産運用規程改定承認の件
  - 第 4 号議案 経理規程改定承認の件
  - 報告事項 海外研究助成事業 10 周年記念式典の開催、理事長および専務理事の職務執行状況について（平成 29 年 10 月～平成 30 年 2 月） 他

## 2. 評議員会

- 第 16 回評議員会 平成 29 年 6 月 23 日開催
  - 第 1 号議案 平成 28 年度事業報告および決算承認の件
  - 第 2 号議案 評議員全員の任期満了に伴う改選の件
  - 第 3 号議案 理事全員の任期満了に伴う改選の件
  - 第 4 号議案 監事全員の任期満了に伴う改選の件
  - 報告事項 理事長および専務理事の職務執行状況について（平成 29 年 3 月～5 月） 他

- 第 17 回評議員会 平成 30 年 3 月 15 日開催
  - 第 1 号議案 評議員選任の件
  - 第 2 号議案 理事選任の件
  - 第 3 号議案 定款の変更承認の件
  - 第 4 号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程改定の件
  - 第 5 号議案 常勤理事の平成 30 年度報酬承認の件
  - 報告事項 「平成 30 年度事業計画」および「平成 30 年度予算」について、理事長および専務理事の職務執行状況について（平成 29 年 6 月～平成 30 年 2 月） 他

## III. その他

### 1. 年次報告書の発行

年次報告書「一年のあゆみ－2016 年度年報」を平成 29 年 7 月に発行した。

### 2. 海外研究助成 10 周年記念式典の開催

シンガポールにおける研究助成事業 10 周年を記念して、平成 30 年 1 月 30 日開催の贈呈式に合わせ、同国のヘン・チーホウ上級国務相（首相府担当）にご臨席いただき式典を挙行了した。

公益財団法人 三井住友海上福祉財団  
平成29年度事業一覧

(1) 交通安全等

①研究助成

a. 国内

No.	研究代表者	研究課題	助成金額 (万円)
1	千葉工業大学 創造工学部 都市環境工学科 教授 赤羽 弘和	大型貨物車の都市高速道路側壁への擦過痕形成時挙動の観測システムの構築と安全対策への適用検討	100
2	目白大学保健医療学部 理学療法学科 専任講師 安心院 朗子	ハンドル形電動車いすで走行している高齢者の周辺状況の認知と危険予測	100
3	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 小児歯科学分野 准教授 岩崎 智憲	睡眠無呼吸時の上気道を予測した睡眠時無呼吸症候群の原因部位の特定方法の確立	100
4	帝京大学文学部社会学科 准教授 浦野 慶子	訪日外国人旅行者に向けた交通ルールの効果的な周知方法の開発	30
5	東京都健康長寿医療センター 研究所 研究員 大須賀 洋祐	新規簡易型認知パフォーマンステストと自動車運転能力関連指標との関連一都市部在住後高齢者を対象とした研究一	100
6	信州大学医学部 メディカル・ヘルスイノベーション 講座 特任教授 大橋 俊夫	手のひらの汗の高感度測定による居眠り防止を基本とした自動車安全運転補助技術の開発	100
7	筑波大学医学医療系 サイバニクス研究センター 准教授 國府田 正雄	交通事故による重度脊髄損傷に対する脊髄硬膜外電気刺激とHAL <sup>®</sup> の組み合わせ療法による歩行再建:パイロットスタディ	150
8	東京大学 生産技術研究所 特任助教 鈴木 美緒	軽度認知障害ドライバーにおける運転時過負荷状態の発現・収束メカニズムの解明	100
9	東海学園大学 人文学部心理学科 准教授 谷 伊織	中高齢ドライバーの免許返納を規定する意思決定モデルの検討	50
10	神奈川工科大学 創造工学部 准教授 吉満 俊拓	空気圧式プロテクタの開発【交通災害などにおける転倒時の衝撃緩和・被害軽減を目的とした機器の開発】	100

b. 海外

11	Lecturer Computer Science Division, Faculty of Informatics, Mahasarakham University Manasawee Kaenampornpan	Participatory Design for Developing User Generated Content Mobile Application to Raise Traffic Safety Awareness in Senior Citizen (高齢者の交通安全意識の高揚に向けたユーザー制作コンテンツによるモバイルアプリケーション開発のための参加型デザイン)	53
12	Lecturer Faculty of Psychology, Chulalongkorn University Harry Manley	Development and Validation of a Hazard Perception Test for Thai Drivers (タイにおけるドライバーのための危険認識テストの開発と有効性確認)	47
13	Nursing Instructor Boromarajonnani College of Nursing Phayao Pratsani Srikan	Functional status assessment and retirement decision among senior Thai road users (タイにおける高齢の道路使用者/運転者における機能面の評価と運転をやめる決断)	48
14	Assoc. Prof. Deputy Director Transportation Institute, Chulalongkorn University Jittichai Rudjanakanoknad	An Experiment of Safe and Affordable Senior Citizen Shuttle Service System in Bangkok Suburb (バンコク郊外での安全で手頃な高齢者シャトル・サービス・システムの実験)	53
15	Lecturer School of Health Science, Mae Fah Luang University Prapamon Seeprasert	School vehicles safety assessment and develop a safety practical guideline, Chiang Rai Province, Thailand (タイ・チェンラーイ県における通学用車両の安全評価と安全実務ガイドラインの開発)	53
16	Staff Physician KK Women's and Children's Hospital Chong Shu-Ling	Understanding parental knowledge and beliefs on the use of child car restraints (チャイルドシートの使用に関する親の知識と信念の理解)	84

研究助成 小計 16件 1,269万円

(内 三井住友海上アジア持株会社負担 58万円)

②著作・論文表彰

著者	題名	副賞 (万円)
実践女子大学人間社会学部 教授 松浦 常夫	【著作】 高齢ドライバーの安全心理学	財団賞 50
国立長寿医療研究センター 長寿政策科学研究部 部長 荒井 由美子	【著作】 認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者の ための支援マニュアル:認知症高齢者の安全と安心 のために(第二版)	財団奨励賞 30

著作・論文表彰 小計 2件 80万円

③普及・啓発助成

No.	助成先	助成内容	助成金額 (万円)
1	(一財)日本交通安全教育 普及協会	「交通安全ファミリー作文コンクール」募集ポスター作成費用	56
2	内閣府(共生社会政策担当)	「秋の全国交通安全運動」ポスター作成配付費用	6
3	交通安全フォーラム推進協議会	「交通安全フォーラム」協賛	25
4	内閣府(共生社会政策担当)	「春の全国交通安全運動」ポスター作成費用	6

普及・啓発助成 小計 4件 94万円

交通安全等 合計 22件 1,443万円  
(内 三井住友海上アジア持株会社負担 58万円)

(2) 高齢者福祉

①研究助成

a.国内

No.	研究代表者	研究課題	助成金額 (万円)
1	高知大学 教育研究部医学系 基礎医学 部門 遺伝子機能解析学講座 教授 麻生 二郎	BRI2/BRI3を標的とするユビキチンリガーゼの機能 阻害による新規アルツハイマー病治療薬の開発	120
2	東京大学大学院医学系研究科 生体防御腫瘍内科学講座 代謝・栄養病態学教室 助教 五十嵐 正樹	腸管内分泌細胞を起点とした老化制御ネットワー クの同定	90
3	徳島大学大学院 医歯薬学研究所 口腔顎顔面矯正学分野 助教 井澤 俊	要介護リスクを高める骨粗鬆症に対するエビジェネ ティック代謝遺伝子ASXLを標的とした診断・治療・ 予防法の開発	120
4	熊本大学医学部附属病院 循環器内科 講師・医局長 泉家 康宏	骨格筋から分泌されるマイクロRNAの網羅的解析に よる、サルコペニアの新規治療標的の同定	140
5	東京都健康長寿医療センター 研究所 福祉と生活ケア研究チーム 研究員 伊東 美緒	地域で生活する認知症高齢者の混乱を誘発する環 境要因と対策	90
6	広島大学大学院 医歯薬保健学研究所 歯周病態学研究室 助教 加治屋 幹人	三次元間葉系幹細胞集塊を応用した骨再生細胞製 剤の開発	120
7	久留米大学医学部 生理学(脳神経機能部門)本務・ 脳神経外科兼務 助教 菊池 清志	AMPK活性化単糖による脳神経保護の研究 超高齢化社会における脳血管障害・頭部外傷の軽 減と予防に向けた動物実験とその応用展開	150
8	杏林大学医学部 高齢医学 教授 神崎 恒一	認知症高齢者の終末期の病態解明とアプローチ法 の確立	200
9	京都大学大学院 人間・環境学研究所 教授 神崎 素樹	筋シナジーの観点から高齢者の歩行動作の不安定 性を捉える～高齢者の転倒予防の確立に向けて～	100
10	九州歯科大学 健康増進学講座 分子情報生化学分野 准教授 古株 彰一郎	骨格筋に発現するうま味受容体を介したアミノ酸シ グナルが担う骨格筋代謝制御機構	50

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
11	東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科 助教	古屋 淳史	高齢者におけるクローン性造血と造血器腫瘍化メカニズムの解明	140
12	広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 ストレス分子動態学 寄附講座 准教授	齋藤 敦	小胞体ストレス依存的に産生される小ペプチド断片の制御による包括的疾患治療法開発	160
13	関西学院大学 理工学部 人間システム工学科 教授	嵯峨 宣彦	筋力維持・回復機能を持つ食事支援システムの開発	120
14	新渡戸記念中野総合病院 神経内科 部長	融 衆太	おだやかな看取りを明日に活かすみちー地域包括ケアシステムの医学的深化をめざす病理解剖の試みー	75
15	慶應義塾大学医学部 精神神経科学教室 専任講師	新村 秀人	東京都都市部における地域在住85歳以上の超高齢者のメンタルヘルス疫学的調査	120
16	大阪大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学 招へい准教授	野口 緑	救急搬送要請高齢者の社会経済的要因と必要な医療保険外サービスに関する研究	120
17	大阪大学蛋白質研究所 分子発生学研究室 教授	古川 貴久	高齢者の視覚をまもる網膜変性予防法の開発	120
18	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 室長	北條 浩彦	老化に伴う筋肉量低下を遅延・阻止させる機能性RNAを用いた新規治療薬の開発	75
19	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学 助教	松本 佳則	骨粗鬆症の克服を目指した骨芽細胞制御ネットワークの解明	140
20	東京大学 高齢社会総合研究機構 特任助教	三浦 貴大	高齢者の運転能力に関する認知機能の自己診断ツールの開発・評価	50
21	東北大学加齢医学研究所 教授	山家 智之	在宅高齢者の誤嚥性肺炎の発症を予防する嚥下蠕動機能監視装置の発明	200

b.海外

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
22	Associate Professor Department of Electrical and Computer Engineering National University of Singapore	Tan Kok Kiong	Hearing Aid and Non-Intrusive Fall Detection Monitoring System for the Elderly (高齢者のための補聴器と非干渉型の転倒探知モニタリングシステム)	83
23	Senior Medical Social Worker Singapore General Hospital	Lim Zhiying	What does co-morbidity and adherence to treatment regimen means to elderly with differing levels of dependency (異なる依存レベルの高齢者にとっての併存疾患と治療方針への積極参加の重要性)	75
24	Medical Officer Resident Singapore General Hospital	Neo Shu Hui	Visual analogue uroflowmetry score (VAUS) in elderly men with lower urinary tract symptoms (LUTS): an empowering tool for evaluation of LUTS in the primary care sector (下部尿路症の高齢者における視覚アナログ尿流測定法スコア: 初期医療部門における下部尿路症の評価のための有効手段)	84

研究助成 小計 24件 2,743万円  
(内 三井住友海上アジア持株会社負担 42万円)

②著作・論文表彰

著者		題名	副賞 (万円)
椋山女学園大学人間関係学部 教授	株本 千鶴	【著作】 ホスピスで死にゆくということ—日韓比較からみる医 療化現象	財団奨励賞 30

著作・論文表彰 小計 1件 30万円

③施設・事業助成

No.	助成先	助成内容	助成金額 (万円)
1	社会福祉法人 平塚あさひ会	「介護自動車」購入費用(神奈川県平塚市)	85
2	社会福祉法人 かすかみ会	「介護自動車」購入費用(石川県小松市)	100
3	社会福祉法人 すみれ福祉会	「介護自動車」購入費用(香川県高松市)	100
4	社会福祉法人 須坂市社会福 祉協議会	「介護自動車」購入費用(長野県須坂市)	100
5	社会医療法人 尾張健友福祉 会	「介護自動車」購入費用(愛知県一宮市)	99

施設・事業助成 小計5件 484万円

高齢者福祉 合計 30件 3,257万円

(内 三井住友海上アジア持株会社負担 42万円)

合計(交通安全等・高齢者福祉) 52件 4,699万円

(内 三井住友海上アジア持株会社負担 100万円)